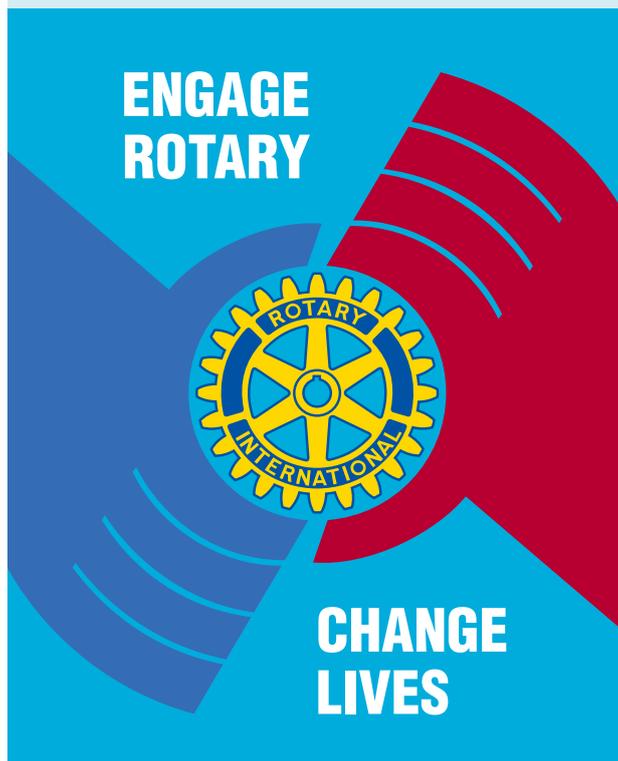


2013 – 2014
April
vol. 10

4



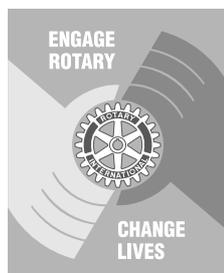
ROTARY INTERNATIONAL
DISTRICT 2660

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信4月号

国際ロータリー 第2660地区
2013–2014年度ガバナー

福家 宏



2013-2014
**GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER**
April vol.10

CONTENTS

ガバナーメッセージ（雑誌月間にあたって）	1
雑誌月間にちなんで	2
米山奨学生終了者 終了式・歓送会 報告	3
ロータリー財団補助金管理セミナー報告	4
ロータリー財団情報	6
ガバナー補佐からのメッセージ	8
我がクラブの目指すところ（IM第7組）	9
災害支援プロジェクト報告（第33回）	13
米山奨学委員会／ロータリー財団	16
2014年2月度 会員数・出席報告	18
文庫通信	19
敬弔／お知らせ	20

雑誌月間にあたって

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

福家 宏



4月はロータリーの雑誌月間です。RIの公式機関紙「ザ・ロータリアン」および世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月として定められています。各クラブにおいてもこの月間にはロータリー誌に関する何らかのプログラムを実施すること、とされています。

「2010年手続要覧」では「各会員は会員身分を保持する限りRIの機関雑誌またはRI理事会から本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌(日本では「ロータリーの友」)を購読しなければならない」と定めています。皆様はロータリアンの三大義務(会費の納入、例会出席、ロータリー雑誌の購読)をご承知のことと思いますがこの中にも「ロータリー雑誌の購読」が入っています。「購入」ではなくて「購読」とされているのですが、なかなか読まれていないのが現状のようです。ちょっと読んでみると割に楽しく読めるのに、例会で受け取って帰って来てデスクの上に置いたが最後、1ページも読まないまま次号を受け取ってしまう…これは残念なことです。この雑誌月間を機に、読者が一人でも増えるように各クラブで創意工夫をして頂きたいと思います。

「ロータリーの友」の歴史について簡単に述べておきます。

1952年4月に第60地区の地区大会が開催されました。次の年の7月から日本の地区は「東日本」と「西日本」の2地区に分かれることが決まっていたので、この地区大会ではこれまで行動を共にしてきた日本のロータリアンが分割後も緊密に連絡を取り合い、情報を共有するために機関誌を作成することが企画されました。

この機関誌が「ロータリーの友」の前身のようなものです。

その後1953年1月から毎月発行することと名前を「ロータリーの友」とすることが決定されました。従って「ロータリーの友」は昨年で60周年を迎えたわけです。1977年、標準ロータリークラブ定款改訂により、ロータリアンはRIが指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことが出来るようになり、1979年7月から1年間の試験期間を経て、1980年7月号から「ロータリーの友」はRI公式機関誌となったわけです。

「ロータリーの友」は2003年7月1日にホームページを開設し、2007年3月から「Rotary Japan」の名称で情報提供を続けています。そして創刊60周年を過ぎた今「ロータリーの友電子版」がスタートしようとしています。電子版がどのような形で配付されるのか、内容はどのようなのか、購読料はどのようになるのかなど、色々と検討課題があるようですが、スタートすることは間違い無いでしょう。電子版スタートによって「ロータリーの友」の読者が増えることを願うばかりです。

最後に雑誌月間とは無関係ですが、ロータリーの友社が発行している広報誌についてご案内致します。2008年8月「Rotary 世界と日本」が創刊されました。2009年以後毎年8月にアップデートしています。A5判16ページの小冊子で、1セット(10冊)で525円です。クラブや地区で開催する公開講座、スポーツ大会、地域でのイベントなどの際にロータリアンでない人々に配って欲しいというものです。会員増強のツールになりそうですので、お勧め致します。

「ロータリーの友」 記事掲載のハードルは高くない

ロータリーの友地区代表委員

鈴木 洋 (八尾東RC)



日頃は「ロータリーの友」を愛読賜りありがとうございます。その上投稿にも挑戦頂き、感謝しています。また過日は「友」に関するアンケートに、クラブの広報雑誌委員長をはじめ会員の皆様から回答をいただき有難うございました。地区内83の全クラブから、そして会員数3681人中1989人(54%)から回答を得ました。主な内容は次の通りです。

1. 所管委員会は広報委員会と広報雑誌委員会合わせて61クラブ、その他が22クラブ。
2. クラブ内で友をどのように紹介しているか？
委員長が事前に読み紹介をしているのが44クラブ、配布のみが23クラブです。
配布のみのクラブの皆様は是非何らかの方法で会員に啓蒙して下さい。
3. 「友」をどれくらい読んでいますか？
会員歴の長短にかかわらず、いずれも50%、30%、10%が多い。
4. 投稿の有無
10%の会員が投稿経験を持ち、34%が今後投稿しようと考えていることは、頼もしい。

5. 「友」の活用について

会員歴の長短にかかわらず、圧倒的に「自己研鑽」(会員全体で62%)が多い。「フォーラム、炉辺会合などの参考」(28%)にしている会員も多い。

6. 「友」への意見

全部で339件の意見が寄せられ、友へのエールから厳しい意見まで多岐にわたっています。「友」事務所ではこれらの貴重な意見を、今後の運営・編集に生かしていきます。

*「友」への投稿のすすめ

掲載のハードルは高くありません。まずクラブが行う奉仕事業を地区のホームページに書き込み、その勢いで「友」原稿を書いて、躍動的な写真とともに投稿してください。

ロータリーの友を購読することは、ロータリアンの三大義務の一つです。しかし義務だから目を通すのではなく、ご自分の研鑽の為あるいは国内のロータリアンとのコミュニケーションに活用していただきたいと願っています。

米山奨学生終了者 終了式・歓送会 報告

米山奨学委員会 委員

三木得生 (豊中南RC)

日時：2014年3月2日(日)

場所：ハイアットリージェンシー大阪

第2660地区米山奨学生終了者終了証授与式ならびに歓送会を開催いたしました。当日は18名の奨学生をはじめ、福家G、若林米山奨学部門顧問PG、泉GE、正岡AG、磯田地区研修委員、各クラブの会長、カウンセラー、米山奨学委員長、指導教官、米山地区委員、米山学友など総勢68名が参加しました。

第1部は終了式です。西谷米山奨学委員長より「四つのテストに示されたロータリー精神を忘れずにそれぞれの持ち場で奮闘し、ロータリーとの絆を持ち続けてほしい」との歓送の言葉が贈られ、福家Gより奨学生一人一人に終了証書が手渡されました。

終了生を代表してガーリントン・イアン・スチュアート氏が流ちょうな日本語で「この奨学金のおかげで勉学に集中できた、また多くのロータリアンから好意をいただき、人間と人間の繋がりができたことは幸せなことであった。次の人をサポートできる人間になりたい」との決意表明がなされました。

福家Gは「激励の言葉」として“Enter to Learn, go forth to serve”という言葉を奨学生に与えられました。「これからは終了生が社会のニーズに応える活動＝サービスに努めてもらいたい、今後も互いに連絡をとりあい、交流を続けていきましょう」と訴えられました。

第2部は懇親会です。若林顧問から「あなたがたは、ロータリアンを通じてロータリーを知り学び、多くの友を得た。これからがスタートである、等しく人間として

平和な世界をつくるために活躍してほしい」との祝辞が述べられました。泉GEの音頭で乾杯し、開宴となりました。

懇親会は古城米山地区委員の軽妙な司会でたいそう盛り上がりました。終了生挨拶では、鄭鍾恩(大阪難波)甘耿(大阪北)両氏がロータリーへの感謝と他人のために頑張ることの素晴らしさを学んだと発言されました。

カウンセラーを代表して、田ノ本(大阪なにわ)北村(大阪中之島)両会員の挨拶があり、第4回米山奨学生ふれあいスピーチコンテスト最優秀賞を獲得した陳思暢氏(守口ブニング)の記念のスピーチも行われました。「何でも自分中心の考え方をしていたが、ロータリアンとのつきあいの中で寛容の心、思いやりの気持ち、相手の立場に立って考えることの大切さを学んだ」との話には会場から大きな拍手が起こりました。

これ以降、次々に飛び入りのスピーチがはじまり、あっという間に予定の時間が過ぎてしまいました。米山学友会(関西)会長の何玉翠さんはじめ5名の学友から入会のお誘いがあり、最後に次年度地区米山委員長近藤菜穂子会員より閉会の挨拶がありました。全員で「手にてつないで」を大合唱してお開きとなりました。

本年度も無事に24名の修了生を送り出すことができましたのは、寄付金を寄せていただいた一人一人のロータリアンをはじめ、関係者の皆様方のご協力があったのととあらためて感謝申し上げ報告といたします。



ロータリー財団補助金管理セミナー報告

地区財団補助金小委員会 委員長

宮里唯子 (茨木西RC)

2014年2月15日(土)、大阪YMCA会館にて財団補助金管理セミナーを実施致しました。

このセミナーへの参加は、クラブが財団補助金プログラムに参加する為の資格認定プロセスのひとつですが、もう一つのプロセスであるクラブの覚書も当日回収致しました。セミナーは以下の要領で開催されましたので、ご報告申し上げます。尚、当日クラブによる財団補助金活動の事例発表に御協力頂きました発表者の皆様には、この場をかりて心より感謝申し上げます。

[開会挨拶]

財団部門顧問 PDG 大谷 透(大阪西南RC)

各クラブのロータリー財団委員会は其の奉仕活動を推進するエンジンです。燃料であるロータリー財団の年次寄付の増進と確保が大切な目的ですが、この目的を実現するには資金管理の公正公平さが重要です。そのために4つのテストの実行が何よりも求められます。4つのテストを日々忘れずに財団活動に邁進し、世界で奉仕活動を実施しましょう。本セミナーがその一助になることを願います。

[新補助金モデルとクラブの資格認定]

財団委員長 溝畑正信(東大阪東RC)

補助金を使用した奉仕活動は「世界で良いことをしよう!」の標語の実践です。補助金を利用した奉仕活動を積極的に実施してください。

[クラブ覚書(MOU)について]

財団資金管理小委員会 委員 片岡利雄(大阪南RC)

各クラブからのチェックリストの回収結果を小委員会では検討しました。チェック項目中、「補助金管理セミナーにクラブ会員を出席させている」や「利害の対立や利害の対立の可能性について、確認している」との項目のチェック率が期待した値よりも低かったことが目につきました。MOUの周知と理解の向上に向けて小委員会としてもより一層の努力をして参ります。各クラブの

皆様にもご協力お願いします。

[財団補助金管理について]

財団補助金小委員会 委員長 宮里唯子(茨木西RC)

2013~14年度の今日現在での当地区の補助金利用プログラムの利用実績は、地区補助金(DG)が44クラブ、グローバル補助金(GG)がTRF承認済み案件7件(内5件は人道奉仕)、今期中になお2件が更に承認されると思われます。我が国では当地区が最も優秀な成績を残しています。財団補助金活動やプロジェクトでは、領収書を添付した支出明細の書かれた報告書を提出することは義務ですが、地区補助金を利用された44クラブの内、現在、約10クラブが報告書を提出されていません。TRFによる監査の結果、地区全体への補助金交付に支障となることが懸念されます。必ず報告書を提出して下さい。

グローバル補助金(GG)を使用した奨学金について補足します。旧時は地区が学生を選考して派遣していましたが、FVPの制度では各クラブが奨学生派遣を提唱することができます。GGの奨学金制度は、元来職業人を念頭に置いて設計されたものだけに選考要件が厳しいものがありますが、大いにチャレンジしてください。なお、6つの重点分野の内「基本的教育と識字率向上」の中に英語教育が含まれるようになりました。実施国が英語を義務教育の一環としているか、公用語が英語とされている場合に限られます。

GGは設備やハードの充実という物的支援は20%、啓発や教育指導等のソフト面の支援が80%の割合で立案する必要があります。プロジェクトの立案に際しては、単に物品の提供に留まらず、必ず研修等のソフト面での支援を加えて下さい。

GGでもプロジェクト総予算の10%を臨時費として申請することができるようになりました。計画時と実行時のタイムラグからくる為替差損や物価変動のヘッジのためにも臨時費の計上をご考慮ください。

[クラブによる事例発表]

補助金担当グループリーダー 四宮孝郎(大阪西南RC)

地区補助金

- ①「ミャンマーにおける人道的国際奉仕活動」
吹田RC(豊谷久仁子会員)
- ②「在日留学生に奨学金を支給」
豊中RC(畑田耕一会員)
- ③「地元における社会奉仕プロジェクト」
大阪フレンドRC(栗原大会長・瀧尻浩士会員)

グローバル補助金

- ①「台湾における人道的国際奉仕活動」
大阪梅田RC(中西藤和会員)
- ②「グローバル奨学生」 千里RC(萬年成泰会員)

[講評・閉会挨拶]

泉 博朗GE(大阪帝塚山RC)

FVPの実行初年度にして、日本において我が2660地区が補助金を使った奉仕活動の案件数で最も優秀であったことは誠に誇らしいことです。各クラブの熱意と努力の賜物です。本日もご熱心に参加いただきありがとうございました。

なお、次年度実施のプロジェクトに要する地区補助金の申請期間は、本年の4月1日から5月末日までです。先着順で受け付けて枯渇すると補助金が打ち切りとなるとのことですので、お早めに申請していただけますことをお願いします。

また、実施されましたクラブからの報告書が未提出のままですと、TRFから地区への監査で説明に支障がでますことと、ひいては地区全体の信用の失墜の事態を招きかねません。このような事態を招かないためにも必ず報告書は期限内に提出いただけますようお願い申し上げます。



ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信 (東大阪東RC)

2013-14年度地区補助金

2013-14年度地区補助金DG1410079の最終報告書はロータリー財団に受理され、本補助金はこれをもって終了となりました。参加資格認定手続きで署名しました地区の覚書(MOU)に従って、地区は補助金活動の報告書と領収書を保管します。地区財団活動資金(DDF)の用途をご報告致します。

地区補助金クラブ申請実績

	クラブ名	活動の種類	活動内容	活動の実施地	地区補助金(US\$)	プロジェクト総予算
1	大阪中央	社会奉仕	身体障害者歩行訓練用トレーニング器材の寄贈	日本	2,853	¥467,775
2	豊中	奨学金	外国人留学生の博士後期課程に奨学金を授与	日本	4,940	¥900,000
3	茨木西	社会奉仕	支援学校に医療機器や学習活動の為の音響機器を寄贈	日本	2,520	¥413,280
4	大阪西南	社会奉仕	視覚障害者のために高速点字プリンターを寄贈	日本	6,000	¥1,299,900
5	八尾東	社会奉仕	障害者の保護者や支援者への情報提供や支援活動のための講演会を開催	日本	2,300	¥404,690
6	大阪南	社会奉仕	いじめや暴力の未然防止の為にグループ学習を実施し、学習用備品を寄贈	日本	6,784	¥1,193,892
7	大阪平野	人道的国際奉仕	小学校にトイレ設備を設置	ラオス	3,762	\$7,524
8	大阪南西	社会奉仕	公的育児機関にテントとスポーツ用品の寄贈	日本	2,295	¥448,774
9	大阪うつぼ	災害復興支援	仮設住宅の高齢者に、農作業のための移動・運搬用車両を寄贈	日本	3,182	¥587,480
10	東大阪	人道的国際奉仕	孤児院に学習用パソコンと周辺備品の寄贈	ベトナム	2,502	\$5,004
11	大阪難波	災害復興支援	台風による土砂災害被災地の小学校と保育所に備品を寄贈	日本	3,410	¥600,000
12	大阪そねざき	災害復興支援	被災中学校の学習環境整備と支援授業の実施	日本	6,819	¥1,753,090
13	大阪咲洲	災害復興支援	豪雨被災小学校に学用品を寄贈	日本	2,336	¥411,050
14	八尾中央	災害復興支援	被災小学校へ暖房機器を寄贈	日本	4,262	¥750,000
15	大阪バーサイド	人道的国際奉仕	職業研修生に送迎トラックとユニフォームを寄贈	カンボジア	6,522	\$14,185
16	大阪梅田	社会奉仕	子供ホスピス・シアタールームにプロジェクターを寄贈	日本	2,364	¥415,980
17	茨木	人道的国際奉仕	国立大学に顕微鏡を寄贈	ラオス	6,818	¥1,199,940
18	高槻東	災害復興支援	被災小学校に放射能除去浄水器を寄贈	日本	6,819	¥1,200,000
19	交野	社会奉仕	小中学生とともに植樹を実施	日本	5,682	¥1,120,350
20	守口イブニング	災害復興支援	被災幼稚園に備品を寄贈	日本	2,273	¥416,100
21	箕面	社会奉仕	青少年を対象に、薬物乱用の危険性をテーマに講習会を実施	日本	6,819	¥1,320,000
22	大阪大淀	災害復興支援	被災小学校へ演奏会用楽器の寄贈	日本	5,398	¥950,000
23	守口	社会奉仕	自殺予防の啓発を目的に講演会やラジオ放送を実施	日本	2,330	¥512,900
24	くずは	社会奉仕	児童通学路に交通安全標識を設置	日本	3,424	¥640,500
25	箕面千里中央	人道的国際奉仕	離島の学校に防潮堤と集会用野外ステージの寄贈	フィリピン	2,590	\$5,180
26	東大阪東	社会奉仕	高齢者のための医療・介護・福祉についての相談会を開催	日本	4,000	¥955,325
27	大阪大手前	社会奉仕	公立支援特別学校に拡大読書機の寄贈	日本	2,272	¥464,400
28	大阪淀川	災害復興支援	被災小学校へ学用品の寄贈	日本	2,209	¥451,500
29	池田くれは	社会奉仕	市民と共に植樹作業の実施	日本	6,819	¥1,200,000
30	吹田西	人道的国際奉仕	農村の公立校へ浄水器寄贈	タイ	2,400	\$5,333
31	大阪東	人道的国際奉仕	地雷・病氣・事故により脚を失った患者に、義足や車いすを寄贈	スリランカ	3,029	\$6,058
32	茨木東	災害復興支援	被災者の心のケアを目的に、ムービー・コンテストを開催	日本	3,510	¥772,060

33	豊中千里	人道的国際奉仕	僻地で健康診断を実施	カンボジア	2,955	\$5,909
34	大阪中之島	災害復興支援	被災児童施設に備品を寄贈	日本	4,348	¥1,265,114
35	大阪柏原	社会奉仕	児童養護施設の児童と生徒を遊園地に招待	日本	4,561	¥932,400
36	大阪北梅田	災害復興支援	被災地に自動体外式除細動器を寄贈	日本	2,446	¥450,000
37	高槻	社会奉仕	高校生に将来のリーダーを育成する勉強会を開催	日本	6,819	¥1,200,000
38	大阪城南	社会奉仕	公立支援校へ、運動用具を寄贈	日本	2,624	¥482,643
39	門真	社会奉仕	地域奨学生教育の為に備品寄贈	日本	5,599	¥985,320
40	大東	社会奉仕	老人、子供、妊婦、障害者の為にベンチを公園に設置	日本	2,394	¥475,000
41	大阪鶴見	人道的国際奉仕	子供達が教育や保護の機会を得られるよう出生登録を支援	フィリピン	2,718	\$6,030
42	大阪城東	社会奉仕	中学校吹奏楽部の演奏会を支援	日本	2,671	¥614,185
43	大阪フレンド	社会奉仕	障害者や子供達と共に、公立児童館の遊具を修繕	日本	2,322	¥436,506
44	吹田	人道的国際奉仕	孤児や地域住民の為に、集会所の補修とトイレの設置	ミャンマー	4,950	\$11,000
				総合計	173,650	¥34,312,454

(US\$=¥100)

この44件の総合計額173,650ドルに、台風被害を受けたフィリピン向け義損金、銀行手数料を加え、当地区は財団への申請額186,735ドルを全て使い切りました。

2013-14年度 学友人道奉仕世界賞

2013-14年度学友人道奉仕世界賞は、第33ゾーンより推薦された、Maya Ajmera氏に授与されます。

Ajmera氏は、第5240地区(米国)の推薦で、国際親善奨学生としてインド(第3140地区)のボンベイ大学へ留学しました。

同氏は、Global Fund for Childrenの創設者、児童図書作家であるほか、世界中で子どもと青少年保護の活動を行っています。現在は、ワシントンD.C.にあるジョンズ・ホプキンス大学の「The Paul H. Nitze School of Advanced International Studies」にて、客員研究員ならびに講師を務めています。

受賞者はシドニー国際大会で表彰されます。

東日本震災

もうすぐ東日本震災発生から丸3年が経過しようとしています。

一般財団法人国際開発センターによる東日本震災への海外からの支援実績のレビュー調査報告書を以下のページよりご覧いただくことができます。

(<http://www.idcj.or.jp/top.html>)

高橋一生国際基督教大学元教授を委員長として、日本赤十字社、(特活)国際協力NGOセンター、(特活)ジャ

パン・プラットフォーム、(独)国際協力機構の有志が「東日本大震災への海外からの支援実績のレビュー調査」を実施し、IDCJが事務局として調査分析作業をされたものです。高橋教授は元ロータリー平和センターのセンター長です。

<ポリオ症例数> 2014年2月25日現在のポリオ症例数

	2013年1月1日~12月31日	2012年
アフガニスタン	21	93
パキスタン	3	14
ナイジェリア	0	53
ポリオ常在国以外		
カメルーン	0	4
ソマリア	0	193
シリア	0	24
エチオピア	0	9
ケニア	0	14
世界合計	24	404

流行国：145 非流行国：224 総計369

現在、ポリオ常在国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国です。インドで最後のポリオ症例が報告されてから3年、ついにポリオ撲滅の認定条件が満たされたインド、そして世界中のロータリアンがこの快挙を祝っています。

[ガバナー補佐からのメッセージ] IMの将来について

IM第7組 ガバナー補佐

杉浦敬久 (大阪船場RC)



早いものでガバナー補佐を指名されてからもう2年を経過した。エレクトの時は地区と各クラブとの連絡係位かと軽く考えていたのが大違いで、補佐が始まると重要な仕事があった。

まずガバナー公式訪問の2週間前に7組、10クラブを訪問し、会長幹事との面接や、クラブ協議会を通じて特色や問題点を聞き出し、福家ガバナーにレポートを提出するところから始まる。

第2回目以降は年度活動計画や実施状況を聞かせて頂き、RI会長や、ガバナー方針に沿っているか確認をしたり、地区に対しての質問や要望を承り、出来るだけ即答をしながら相互の理解を深めた。

そして、年間4回ほど会長会や幹事会を行い、各クラブの持つ悩みや対策を情報交換しながらクラブ間の連帯意識を醸成した。そして地区におけるRCの認知度を高めるための地域社会奉仕や震災復興支援などの共同事業を進めてきた。

さてIM(インターシティミーティング)7組の立場

は広域の「都市間相互の連合体」ではなく「ビジネス街の町内会」の性格が強い。なぜならば、例会場が北区のホテルで2クラブ、中央区で8クラブと限られたエリアで毎日開催されているし、大半の会員は職と住が別である。

このような都市型のクラブ運営では、他地区で見られる広域型のIMと違った青写真が描けないものだろうか。今日まで行われてきたIMは第2660地区の大会ミニチュア版のようにも思える。もっと7組会員の「研修と親睦」から発展して、地域密着の「奉仕とお祭」をコンセプトにして第7組10クラブの会員、家族、地域の人達や米山奨学生・ローターアクター等の若い力を結集すれば素晴らしい何かが生まれてくると確信する。

幸いこの地域には大阪の中心部に位置するので歴史や史跡・ビジネス街・有名ブランド店・飲食や娯楽の繁華街等の舞台装置が揃っている。あとはロータリーらしさを出した、素晴らしいプランが出来ればIM第7組の将来は明るい。

我がクラブの目指すところ (IM第7組)

大阪フレンドRC 会長 栗原 大

当クラブは会員数29名と少数ながら平均年齢が49歳と言う比較的若い会員が多いクラブです。しかしながらロータリー暦はまだ浅く、これから私を含めロータリーについて多くの事を学ばなければなりません。

今年度ガバナー方針の感動体験を！当クラブもテーマに掲げ、まず最前線で奉仕を経験することが、ロータリーの学びと感動を体験できると考えております。

そこで今年度は、秋のライラのホストクラブを務め、

社会奉仕活動にDGを使用し拡大させ、職業奉仕活動を公共的に解放し、GGを使用した国際奉仕プロジェクトを実行しております。

そして年度末には15周年とクラブは浅いながら節目の年を迎えます。当クラブはまだまだスタート地点にたったばかりと考えています。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。

大阪御堂筋本町RC 会長 岡田俊作

大阪御堂筋本町RCは、大阪本町RC(1991年3月26日創立)と大阪御堂筋RC(1993年1月28日創立)が、2012年11月21日にRIの認証を得て合併致しました。2013年7月4日の合併披露例会を以って新しいクラブとして発足しました。生い立ちの異なるクラブの合併でしたが、一人の退会者もなく61名の中堅クラブとしてスタート致しました。

旧本町RCでは、青少年交換・WCSプロジェクト・医師を目指す高校生の病院見学会を長年に亘り実施して居り、旧御堂筋RCは、盲導犬育成事業への支援、東京大学との協力での遺伝子バンクの設立やスギ花粉によ

る花粉症を公害問題と捉え解決を目指す活動を展開する等それぞれ特色のある奉仕活動をして参りましたので、合併後は両クラブの蓄積した経験とノウハウを生かし、更なる領域を広げて社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の各分野に活動を展開しています。

亦、最近では「世界一国際的なロータリークラブ」を目指す活動にも注力して居ります。その方向を明確にして、会員増強に関しても、人種・国籍・宗教・性別に拘らない基準で増強に努め、幅広く優れたロータリアンを育てていきたいと思っています。

大阪南RC 会長 小谷公穂

ご承知の様に、他の奉仕団体にはないロータリーの考え方として、まずは各自の職業を立派に遂行し、社会のお役に立つという職業奉仕があります。この事からすれば、どなたも日頃から職業奉仕を実践している立派なロータリアンと言ってもいいでしょう。そんな中、日々の仕事で、頭の痛む事も多いかと思いますが、互にホッと出来る時間も大切にしたいものです。

今年の我クラブの方針として“交わりと笑顔でロータリーを楽しく”とさせて頂きました。交わりの原点は例

会への出席であり、年齢、立場を越えて「皆話(かいわ)」を楽しんで頂く事です。

奉仕部門の理解をより深めて頂く為のクラブフォーラムも年5回、毎回50名を超える出席者があります。お食事とお酒で親睦も深まり、奉仕に向け一石二鳥の効果が生まれています。

お陰様で昨年は創立60周年を迎える事が出来ましたが、これからも親睦と奉仕を両論に活力あるクラブを目指したいと思っています。

大阪難波RC 会長

夏 明義

今年度、大阪難波ロータリークラブは、“誇れるロータリー”を目指しております。ロータリーの基本である、毎週の例会の充実や諸行事への参加意識の向上に努め、“調和と実行力”をもってクラブの運営を会員の皆様と共に作っていきたく思っております。

具体的に今期の主な活動は、

- ①奉仕と親睦の調和
- ②会員増強と勉強会開催等による退会防止
- ③F・V・P(未来の夢計画)によるプロジェクトの実行
- ④例会を中心としたクラブの活性化

をあげております。

F・V・P事業に取り組み、小学校と保育所へ放送機器や遊具を寄贈し、記念植樹を行ったことが、地元和歌山の新聞2社に掲載され、広報活動も併せて行うことができ

ました。

クラブ活性化の一つとして上期は会員増強に力を入れ、会員各位のご協力で6名の方が入会され、現在52名です。そして、特に充実した例会を行なおうと1分間ストレッチを取り入れ、リラックスして例会に出席していただき、食事や音楽も工夫しております。前半は親睦の時間、後半は奉仕の時間としての例会を目指します。

ロータリー暦の浅い会員の方も多くなっているので、勉強会をはじめ、奉仕や親睦の機会にできるだけ多くの会員の皆様に参加いただけるよう努力を続けて参りたいと思います。

後に、ロータリーをよく知っていただき、好きになり、そして、何よりロータリーを楽しむことではないでしょうか。

大阪なにわRC 会長

池側一司

当クラブは、1984年2月23日に大阪難波RC様をスポンサークラブとして誕生したものであり、今期クラブ創立30周年記念を迎えさせていただきます。

去年の12月1日(日)に式典・祝賀会をスイスホテル南海大阪にて地区の役員の方々、日頃お世話になっております7組の会長、幹事の方々、又姉妹クラブの国外のタイ国のバンケンロータリークラブの方々をお迎えして、豪華・絢爛とは言えませんが精一杯の式典、祝賀会を行

なわさせていただきます、わずかな、おもてなし、が出来たものと確信しております。

今回の30周年を通じクラブ会員全員が一丸となり、30周年の成功を目指し日々がんばっていただいた事に感謝すると共に、今後はロータリーの基本であります、奉仕活動におきましても、クラブ会員全員が一丸となり、がんばって行きたいと考えておりますので、地区、又7組の皆様よろしくお願い致します。

大阪南西RC 会長

小池廣子

大阪南西ロータリークラブは大阪南ロータリークラブをスポンサークラブとして創立し、お陰様で今期創立40周年を迎えることができました。

本年度は2月1日にインターシティミーティングのホストを務めさせて頂き、無事盛会裏に終えることができました。これもIM第7組のロータリアン皆さまのお陰と心より感謝申し上げます。

今期は創立40周年記念式典・祝賀会、IMホストと2つの大きな行事があり、これらの行事に向けて会員の心が1つになり、非常に良い雰囲気になってきました。

会員減少の防止と会員増強は各クラブ共通の問題ですが、当クラブは創立の原点に立ち返り、会員相互の親睦を通じて、大阪南西ロータリークラブに在籍して良かった、と思える魅力あるクラブ創りを目指し

ております。

月1回、家族共々の食事会をしておりますが、これも少人数ならではの特色と自負しております。

地域での社会奉仕活動も毎年実施しております。西成区長、警察署長、消防署長、の皆様には毎年例会で卓話をして頂き、地域の現状をお話して頂いております。行政や地域の各種団体の皆様とも会合を重ね、その時々

大阪西南RC 会長 青木達也

当クラブは大阪南RCを親クラブとして、昭和44年に創立し本年45周年という節目の年を迎えました。

本年のクラブスローガンは「今、考動する事へのチャレンジヤー！」です。RI会長のロン・バートン会長がメッセージとして「ロータリーを実践して…」と御座います。

また、第2660地区福家ガバナーにおかれましては「感動の体験を！人々にも自身にも」と。ロータリアン同士で知恵を絞りそしてメンバー全員で行動する。初心に立ち返り、本年をスタート年度として全員で挑戦したいと思っております。その第1弾としてフィリピンターラックRCとの姉妹締結を結びました。場所的にはアキノ大統領のお膝元の地です。

大阪船場RC 会長 清水清一

我クラブは創立25年を経て、26年目の壮年期に入り、活動を実践する年と位置付けました。

そして活動方針を「自らの活動の中に達成感と喜びを共に分かち合おう」を合言葉に全員参加の使命を持ち地域においても世界においても認知される人道的奉仕活動を行うクラブを目指し、様々な活動プロジェクトを推進しております。

会員増強推進には26年目にして初めて女性会員の入

ニーズに即した事業展開ができるよう、コミュニケーションを深めております。

これからも地域の皆様のお役に立ち、また必要とされるクラブになるよう心掛けていく所存であります。

今後とも何卒よろしくご指導の程お願い申し上げます。

小学校には600名もの子ども達が元気に走り回っています。然し、トイレが無く衛生面でとても苦勞をされております。本年度我々はその修復活動から初めていき翌年そしてその次の年もしっかりと検証していきながら奉仕活動を続けて参りたいと思っております。

更に今後我クラブとしましては、会員数の安定そして増員を掲げて参りたいと思っております。昨年の11月度には101名と3桁の大台に乗りました。会員構成も老・壮・青ととてもバランスよく、世代を超えた交流が盛んとなってきております。

来るべく50周年には150名を目指して、同じ想いでロータリーライフを楽しめるメンバーと半世紀を振り返り、大いに大阪西南クラブを称えたいと思っております。

会、素晴らしいことだと思っております。

それぞれのプロジェクトは継続して実施していかなければならない活動も多くありますが、会員一人ひとりがそのプロジェクトの推進に責任をもって取り組んでもらっています。

又、IM第7組全体での共同活動を行う為に各組との交流を図り、ロータリークラブは一つであるとの信念の基、より具体的な活動を目指しております。

大阪心斎橋RC 会長

佐伯良一

会長を拝命し、自らにも言い聞かせる意味で「足るを知り、足るに感謝する心を持つロータリアンの集まりとして、和やかな中にも凛として品格あるクラブづくり」を目指して無我夢中で8ヶ月が過ぎました。IM第7組、地区の他クラブの皆様とも親しくお付き合いをさせて頂き、ようやくクラブを少し離れて見る余裕ができました。

RIの戦略計画では刷新性、多様性、柔軟性がキーワードとして謳われています。当クラブでも、委員会の横の連携や複数年にわたる施策の継続性等、新たな時代に

ふさわしいクラブづくりの必要性を痛感しております。新入会員、中堅会員、ペテラン会員がお互いに刺激しあい、ロータリアンとして成長し続ける。守るべきは守り、変えるべきは変える。時代を先取りした新たなクラブづくりを目指したいと思います。

来年度はIMのホストクラブを担当させて頂きます。一つのクラブでは出来ない夢を、複数のクラブが協力して実現する必要性もますます高まります。IM第7組の新たな可能性を皆様と共に考える場に出来ればと思います。

大阪うつぼRC 会長

岩根和加子

伝統ある当クラブの33代会長として、33名の会員の方々と、夜の例会を“楽しく絆を深める場”として、まず例会に出席すること、そして笑顔で話ができる例会を…と心がけております。

当クラブは、経験豊かなロータリー精神をしっかり心がけ実践してこられた先輩と、若い働き盛りの職業人で大変忙しい中、進んでロータリー活動を勉強・実践しようと意欲的に活動して下さる方々とが半々で、とてもまとまった素晴らしいクラブだと思っています。

しかし、強力な「野球チーム」もありますので、もう少し若いメンバーを増員しなければと「友呼び」をお願い

しています。ロータリーの伝統を守りながらも、時代適した柔軟な発想も受け入れ、入会した会員は「皆で育てる」を合言葉に、活性化した楽しいクラブ作りを目指しています。

新しい会員には、まず自分自身の職業において“職業奉仕”“四つのテスト”をしっかり受け入れ実践すること。そして、ロータリー活動も自ら進んで参加し、先輩との親睦を深め、「会員同士の相互扶助＝愛の輪作り」を基に奉仕の機会を共有できる…

その感動が豊かな人生の輪が広がるとお話しております。

災害支援プロジェクト報告 (第33回)

災害支援プロジェクト委員長

高島凱夫 (大阪中之島RC)

1. 災害支援プロジェクト寄付送金口座

りそな銀行 大阪営業部 普通 1527285

口座名義：第2660災害支援 会計 片岡基博

(ダイニロクロクゼロサイガイシエン カイケイ カタオカモトヒロ)

2. 災害支援地区基金の状況 (2014年3月13日現在)

【収入】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
1	前月からの繰越	7,793,713	
2	大阪府赤十字血液センター 北大阪事業所 (千里RC 矢橋様)	5,635	基金
合 計		7,799,348	

【支出】

(単位:円)

	地区クラブ名および寄付者名	寄付金額	備考
11	フィリピン 第3860地区 (Haiyan支援)	4,168,201	
12	送金手数料 リフティングチャージ	8,084	
合 計		4,176,285	

【残高】

(単位:円)

預金残高	3,623,063	2014年3月12日現在
------	-----------	--------------

3. フィリピン大規模台風 (Haiyan) 支援について

2013年11月8日に国家的大参事とも言われるフィリピン中部を直撃した超大型台風ハイエン(現地ではヨランダ)による甚大な被害は、日本においても連日報道されておりました。実は台風が直撃する約一月前の10月15日には3,000余りもの余震を伴ったマグニチュード7.5の地震、その後は竜巻と、僅か1カ月の間に住民は大変な苦渋を味わっていたようです。

ハイエンによる犠牲者は約6,000人、行方不明者約1,800人、避難生活者約390万人とも言われ、その被害は暴風雨による家屋倒壊をはじめ、高潮や土砂崩れを伴い、フィリピンの歴史においても未曾有の規模です。

当災害支援プロジェクト委員会におきましては、いち早く現地の被災者に支援を差し伸べるべく、2013年11月22日にフィリピンの全地区へ救援活動の状況を問い合わせ、結果第3860地区ガバナーの支援要請に応えるべくロータリー財団地区補助金の臨時費(注1)を2013年12月10日に送金致しました。

食糧や飲料水の配布等をはじめとする緊急支援がひと段落すれば、その後は復興に向けて益々支援が必要とされることは自明の理であり、当委員会では地区内クラブの皆様には被災地区のガバナーメッ

セージをお伝えすると共に、寄付金への御協力をお願い致しました。その結果、実に69クラブから多額の義援金が寄せられましたので、早速第3860地区に復興状況を問い合わせましたところ、現地災害支援第2、第3フェーズの具体的な計画の御連絡を頂き、2014年2月27日に全額送金を完了致しましたので、ここにご報告申し上げます。送金支援額及び用途につきましては、以下をご参照下さい。

尚、地区の支援金には参加されず、姉妹クラブなどを通じ、災害発生直後クラブ独自で支援を行なわれたクラブが多数あったことを申し添えます。

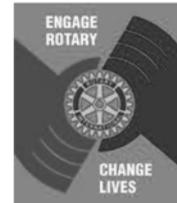
最後になりましたが、皆様の被災者支援への暖かい御協力に深く感謝申し上げます。

支援金	額	支援先	支援内容
財団地区補助金 臨時費	1,251,046円	フィリピン 第3860地区 (タクロバン、オーモック、 セブ北部)	第1フェーズ： 緊急支援＝食糧品や飲料水など
69クラブからの 義援金	4,168,201円		第2フェーズ： 復興開始と生計の立て直し ①被災小学校の屋根の修復 ②約1,000隻の漁民用ボートの製造 (100隻製造済) 第3フェーズ： 被災者用簡易住宅の建築
総合計	5,419,247円		

(注1) 地区補助金は、クラブによるプロジェクトの活動費に加え、申請可能補助金総額の20%までを(用途を指定しない)臨時費の申請が認められていますが、今年度当地区では約7%を臨時費として申請し、緊急支援用として留保していました。



国際ロータリー 第 3860 地区
フィリピン



2014 年 3 月 4 日

国際ロータリー 第 2660 地区

親愛なる福家ガバナー、高島直前パストガバナー

2014 年 2 月 27 日、2 度目の寄付金 4,168,201 円を受領致しました。感謝申し上げます。

第 2660 地区のロータリアンの皆様の被災者への御厚情は、まさにロータリーの理想と友情であります。皆様の暖かいご支援は超大型台風ヨランダの被災者にとって希望であり、この悲劇から立ち直り、復興を果たしていく勇気を与えて下さいました。

第 3860 地区を代表致しまして、苦難と挑戦に立ち向かう住民への継続的支援に深く感謝申し上げます。

Yours in Rotary,


Edgar R. Chongbrian
地区ガバナー


Philip N. Tan
地区代表幹事


Wilton Uykingtian
Chair, D.R.R.R.C.

DONATION ACKNOWLEDGEMENT RECEIPT

Organization : **Rotary International District 2660
Osaka, Japan**
Date Received : **February 27, 2014**
Cash Contribution : **JPY 4,168,201.00**
: **Four Million One Hundred Sixty Eight Thousand
Two Hundred One Japanese Yen**
Deposited at : **Rotary District 3860 Disaster Fund
Bank of the Philippine Island - MEZ 2 Branch**

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2014年 1月末	全国寄付金合計額 ……………	999,534,553円	(前年同期比560万円増)
	第2660地区寄付金合計額 ……………	63,013,950円	(前年度比6.39%増)
	全国寄付合計トップ10		
		1. 第2650地区	60,580,814円
		2. 第2660地区	55,504,700円
		3. 第2750地区	52,234,352円
		4. 第2760地区	47,710,295円
		5. 第2580地区	46,595,800円
		6. 第2640地区	41,353,000円
		7. 第2590地区	35,711,850円
		8. 第2770地区	33,835,500円
		9. 第2780地区	30,321,570円
		10. 第2630地区	27,711,700円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(2014年1月)

氏名	回数	クラブ名
佐伯 崇邦	5	大阪なにわRC
井戸本 泰次	1	大阪中之島RC
梅原 一樹	1	大阪中之島RC
嶽下 勇治	1	大阪中之島RC
犬飼 直之	3	大阪中之島RC
寺川 博之	1	大阪梅田RC
森 治	2	大阪梅田RC
稲本 一夫	4	大阪梅田RC
芳賀 修	4	大阪梅田RC
大矢 善昭	4	大阪梅田RC
野口 秀夫	4	大阪梅田RC
三好 庸隆	4	大阪梅田RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。(2014年1月)

クラブ名	回数
大阪城北RC	28
大阪西南RC	73

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2014年1月)

氏名	クラブ名
岡山 晃三	大阪梅田RC
松尾 勝裕	大阪そねざきRC
松田 壽美子	大阪そねざきRC
下岡陽一郎	大阪中之島RC

氏名	クラブ名
光田 広亮	摂津RC
川脇 健	摂津RC
北畑 瑞穂	摂津RC
郷木 健	摂津RC

氏名	クラブ名
東谷弥八郎	摂津RC
内山 雅統	茨木RC
加藤 光祥	池田くれはRC
菅家 基夫	大阪中央RC

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2014年1月)

氏名	回数	クラブ名
平山 博史	1	大阪梅田RC
稲本 一夫	1	大阪梅田RC
小川 康彦	1	大阪梅田RC
森 康次	1	大阪梅田RC
大矢 善昭	1	大阪梅田RC
古澤 照男	5	大阪御堂筋本町RC
三好えり子	1	大阪そねざきRC

氏名	回数	クラブ名
竜 佳代	2	大阪そねざきRC
森本 和代	3	大阪そねざきRC
寺本美津子	2	大阪そねざきRC
長尾 依子	1	大阪そねざきRC
草嶋祐理子	2	大阪そねざきRC
繪川 長昭	2	大阪なにわRC
佐伯 崇邦	3	大阪なにわRC

氏名	回数	クラブ名
新子 茂生	8	大阪なにわRC
木原 章夫	2	摂津RC
辻井 正房	5	摂津RC
下村 三郎	1	摂津RC
上田 宏二	3	大阪西北RC
妙中 茂樹	1	大阪西北RC
中谷 庄八	3	大阪西北RC

ベネファクター 次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2014年1月)

氏名	クラブ名
内海関一郎	大阪梅田RC
木村 眞敏	大阪中之島RC

メジャードナー 次の方たちにメジャードナーの称号が贈られました。(2014年1月)

氏名	クラブ名
奥 嘉隆	交野RC
笹木 秀雄	大阪中央RC
泉 博朗	大阪帝塚山RC

2014年2月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	2月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第1組	池田	37	38	2	1	0	1	4	73.61	65.97
	池田くれは	28	30	1	2	0	2	4	80.26	74.37
	箕面	25	28	2	3	0	3	4	83.83	79.75
	箕面千里中央	21	23	0	2	0	2	4	94.54	93.27
	豊中	45	46	4	2	1	1	3	84.40	69.04
	豊中南	28	29	2	2	1	1	4	89.21	78.17
	豊中-大阪国際空港	20	20	0	1	1	0	4	72.42	64.87
	豊中千里	39	37	3	1	3	-2	4	86.76	75.16
	小計	243	251	14	14	6	8		83.13	75.08
	I M 第2組	茨木	25	27	3	2	0	2	4	93.38
茨木東		39	40	4	2	1	1	4	79.68	67.08
茨木西		28	28	6	0	0	0	4	91.07	77.68
千里		38	39	0	1	0	1	3	86.32	79.11
千里メイプル		22	22	2	1	1	0	4	96.39	85.54
摂津		37	37	2	0	0	0	4	87.68	66.79
吹田		60	60	10	2	2	0	4	92.74	85.85
吹田江坂		34	33	2	0	1	-1	3	98.92	88.10
吹田西		47	50	2	3	0	3	3	100.00	90.31
高槻		51	50	6	0	1	-1	4	92.65	83.19
高槻東	36	38	2	2	0	2	3	95.48	90.81	
高槻西	20	21	0	1	0	1	4	96.43	77.38	
小計	437	445	39	14	6	8		92.56	81.22	
I M 第3組	大東	42	42	0	1	1	0	3	100.00	93.71
	大東中央	28	29	11	1	0	1	4	83.99	69.62
	枚方	40	43	0	7	4	3	3	93.26	84.80
	門真	30	32	6	3	1	2	4	89.52	72.58
	交野	32	35	1	3	0	3	3	83.13	77.10
	香里園	15	16	0	1	0	1	4	92.19	75.00
	くずは	52	52	0	2	2	0	4	76.51	66.91
	守口	42	42	4	0	0	0	4	83.29	73.75
	守口イブニング	27	27	4	0	0	0	4	82.41	75.00
	寝屋川	42	41	5	0	1	-1	4	89.02	75.61
四條畷	12	12	0	0	0	0	4	93.94	92.96	
小計	362	371	31	18	9	9		87.93	77.91	
I M 第4組	東大阪	70	74	0	5	1	4	4	83.51	77.39
	東大阪中央	33	30	0	0	3	-3	3	89.11	86.69
	東大阪東	55	61	4	6	0	6	4	85.38	73.36
	東大阪みどり	30	27	0	0	3	-3	3	80.25	70.37
	東大阪西	31	32	0	1	0	1	3	96.29	69.10
	大阪柏原	30	31	2	1	0	1	3	96.42	86.88
	大阪ネクスト	19	18	7	0	1	-1	4	72.22	47.22
	八尾	60	60	0	2	2	0	4	77.90	71.48
	八尾中央	16	16	0	1	1	0	3	91.37	88.99
	八尾東	26	26	1	0	0	0	4	70.09	61.47
小計	370	375	14	16	11	5		84.25	73.30	

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	2月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第5組	大阪中央	46	50	6	6	2	4	4	93.00	79.51
	大阪堂島	28	30	1	2	0	2	4	95.00	80.83
	大阪北	197	193	0	8	12	-4	4	77.12	66.04
	大阪北梅田	50	52	4	4	2	2	4	70.24	62.93
	大阪西	75	76	0	1	0	1	4	91.39	82.24
	大阪大淀	36	39	0	3	0	3	4	95.89	86.30
	大阪リバーサイド	34	36	6	4	2	2	4	90.10	74.04
	大阪西北	49	51	0	3	1	2	3	85.22	81.05
	大阪そねざき	35	37	23	3	1	2	4	92.13	82.68
	大阪梅田	25	23	1	0	2	-2	3	95.24	80.63
大阪梅田東	25	28	0	5	2	3	3	89.28	70.55	
大阪ユニバーサルシティ	32	35	5	3	0	3	4	82.58	71.21	
小計	632	650	46	42	24	18		88.10	76.50	
I M 第6組	大阪	257	270	1	20	7	13	4	68.92	52.21
	大阪東	117	122	0	9	4	5	4	94.70	75.12
	大阪東淀ちゃやまち	30	29	3	0	1	-1	4	92.50	81.25
	大阪城東	43	42	5	2	3	-1	4	89.16	82.86
	大阪中之島	27	28	2	2	1	1	4	83.92	74.10
	大阪大手前	35	35	5	2	2	0	4	90.05	79.16
	大阪城北	49	46	3	2	5	-3	4	79.08	75.02
	大阪天溝橋	68	66	0	2	4	-2	4	80.99	77.55
	大阪鶴見	32	31	0	0	1	-1	3	88.08	73.61
	大阪淀川	28	30	3	3	1	2	4	97.49	83.37
新大阪	32	33	1	2	1	1	4	91.67	90.15	
小計	718	732	23	44	30	14		86.96	76.76	
I M 第7組	大阪フレンド	25	29	4	4	0	4	2	84.49	72.42
	大阪御堂筋本町	61	58	3	0	3	-3	4	82.54	74.49
	大阪南	144	155	0	17	6	11	3	85.84	73.05
	大阪難波	46	52	0	6	0	6	3	88.82	76.20
	大阪なにわ	25	26	3	2	1	1	4	89.18	69.46
	大阪南西	15	15	3	0	0	0	4	90.66	87.09
	大阪西南	98	101	21	5	2	3	4	95.31	73.27
	大阪船場	39	39	1	1	1	0	4	94.75	82.50
	大阪心斎橋	33	36	0	3	0	3	4	95.06	81.48
	大阪うつぼ	33	33	3	1	1	0	3	94.12	89.31
小計	519	544	38	39	14	25		90.08	77.93	
I M 第8組	大阪平野	32	30	2	1	3	-2	4	98.08	91.48
	大阪イブニング	14	14	3	0	0	0	4	83.93	66.07
	大阪城南	53	51	0	3	5	-2	4	91.63	80.82
	大阪咲洲	18	18	1	1	1	0	4	83.33	72.22
	大阪天王寺	56	57	0	2	1	1	3	87.90	77.95
	大阪帝塚山	53	52	4	2	3	-1	3	78.66	72.58
	大阪東南	50	50	0	1	1	0	3	94.00	64.67
	大阪アーバン	23	25	7	4	2	2	4	94.00	87.00
	大阪みおつくし	34	27	15	5	12	-7	4	63.89	61.11
	小計	333	324	32	19	28	-9		86.16	74.88

合計	クラブ名	7月期初 会員数	2月末 会員数	女性 会員数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率
	83	3614	3692	237	206	128	78	87.4	76.7

文庫通信 (318号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料から

- 「魅力的なクラブ創り」 北 清治 2013 9p (D.2780 地区大会報告書)
- 「『ロータリーに魅せられて』ロータリーは新会員とともに」
坂本俊雄 2014 10p (D.2710 地区大会特集号)
- 「変わりつつあるロータリー」 江崎柳節 2013 7p (D.2800 地区大会記念誌)
- 「『ロータリーの目的』とRI戦略計画」 南園義一 2013 8p (D.2700 地区大会の記録)
- 「国際ロータリーの動向とロータリー財団」
三木 明 2013 5p (第35回 青少年指導者育成セミナー報告書)
- 「過去を内省し、新しきものを統合していこう
—ロータリー創立100周年後の歩みで感じたこと」 黒田正宏 2013 51p
- 「ポリオが地球から消える日『世界の子どもたちとの約束を果たそう』」
北山輝夫 2013 2p (D.2830 地区大会記録誌)
- 「ポリオとの戦い—根絶間近のインドから」
ロケシュ・グプタ 2013 5p (D.2830 地区大会記録誌)
- 「トルコの識字プロジェクト支援／ロータリーへの目覚め」
重田政信／清 章司 2013 1p (D.2840 私のロータリーモメント)

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

神島喜與一 会員（大阪西南RC）

2014年1月26日 逝去（享年70歳）

会報委員長

田村茂樹 会員（豊中-大阪国際空港RC）

2014年2月21日 逝去（享年73歳）

幹事、理事、社会奉仕委員長、青少年委員長、
福祉委員長、親睦委員長

山路昌彦 会員（大阪東南RC）

2014年3月14日 逝去（享年74歳）

社会奉仕委員長、職業奉仕委員長

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター

米山功労者（マルチプル）
ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■お詫びと訂正

月信3月号16ページに間違いがありましたので、お詫びして訂正いたします。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

（誤）森本 三 1 高槻西RC

（正）森本 榮三 1 高槻西RC

■メールアドレス変更

新大阪ロータリークラブ（5月1日より）

新メールアドレス shin-osaka.rc@blue.plala.or.jp

■ビジターフィー変更

大阪ロータリークラブ（2014年4月例会より）

現行：4,700円 → 変更後：4,800円

大阪西南ロータリークラブ（2014年4月例会より）

現行：4,700円 → 変更後：4,800円

大阪北梅田ロータリークラブ（2014年4月例会より）

現行：4,400円 → 変更後：4,600円

毎月最終例会軽食時 現行：3,000円 → 変更後：3,100円

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 福家 宏
- 地区代表幹事 山田 正雄
- 地区副代表幹事 中井 敬和
- 担当地区幹事 吉本 憲司
- 担当地区幹事 山本与志弥
- 事務局長 栗正 久美

2013—2014年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	福家 宏
地区代表幹事	山田 正雄
地区副代表幹事	中井 敬和
事務局長	栗正 久美
事務局員	春名 志保
	奥田 純子
	井上 望美

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

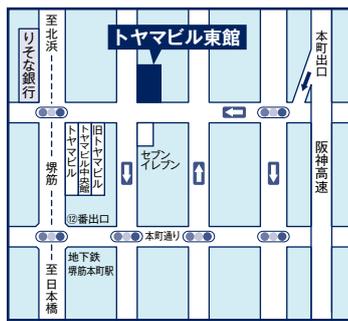
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所には会議室を併設しております。
最多 36名
詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp